令和2年 千葉市議会第3回定例会

令和2年9月8日㈫から10月7日㈬にかけて、令和元年度の決算審査を含む「令和2年第3回定例会」が開催されました。今議会においても、新型コロナウイルス感染症対策を念頭に置き、常時換気の実施、飛沫防止アクリル板の設置、質問席の設置、本会議における出席者の調整等の対策を実施、また、常任委員会対応や傍聴者対応を行ったうえでの開会となりました。

初日の本会議は13時より開会し、諸般の報告、会期決定の件、請願第3号及び発議第10号審議に続き、議案第99号から第137号及び発議第9号が上程され提案理由説明が行われ、請願第4号が委員会付託となり、その後各会派に分かれての議案研究が行われました。

9月11日㈮は13時より開議で議案質疑が行われ3人が登壇、常任委員会付託となり土日を挟み14日㈪、5常任委員会による決算議案以外の案件審査が開催されました。

16日㈬・17日㈭は交渉4会派による代表質疑、18日㈮には決算議案以外の補正予算・条例議案・一般議案についての常任委員長報告・討論・採決が行われ、その後、追加議案（人事案件）が提案され、委員会付託を省略し採決が行われました。本会議散会後、決算審査特別委員会が開催されました。正副委員長互選、分科会の設置と委員選任、正副主査の互選の後、理事会が設置され決算審査特別委員会理事会が開催されました。また、理事会終了後には総括説明が行われました。

23日㈬から28日㈪には5つの分科会による決算審査が行われ、29日㈫からは市政に関する一般質問が始まり、10月6日㈫まで31人が登壇いたしました。この間にも、決算審査特別委員会各分科会、決算審査特別委員会理事会が開催され、指摘要望事項の検討等を行いました。

6日㈫の本会議散会後に開催された決算審査特別委員会での、分科会報告・意見表明・採決を経て、7日㈬最終日は、書面による決算審査特別委員長報告・討論の後採決が行われ、令和元年度の決算議案及び関連議案はすべて可決・認定されました。

第4回定例会は、11月26日㈭開会となります。

議長席から・
新型コロナウイルス感染症対策のためアクリル板越しに

元気発信！花見川！
だんき和彦（かずひこ）
市議会レポート

【主な役職】千葉市議会副議長／後期高齢者医療広域連合議会議員／総務委員会委員／立憲民主党千葉県総支部連合会副幹事長
花見川中学校区青少年育成委員会顧問／花見川中学校学校評議員／花見川小学校学校評議員／ニュー花見川ショッピング自治会会長

発行責任者　千葉市議会議員　段木和彦
発行所：花見川区花島町430−8
TEL：043（258）0958
FAX：043（286）9312
携　帯：090−2325−3683
E-mail：dangi.s@coda.ocn.ne.jp

今定例会における議案と新型コロナウイルス感染症に関する補正予算について

今定例会に提出された決算関連議案及び決算議案以外の議案は、補正予算議案16件（人事案件含む）、となっております。（決算関連議案及び決算議案については別項で解説いたします。）

条例議案では、「千葉市市税条例の一部改正」「千葉市国民健康保険条例及び千葉市介護保険条例の一部改正」「千葉市地域公共交通活性化協議会設置条例の一部改正」等について、一般議案で「財産の取得について（ＧＩＧＡスクール用パソコン・電源キャビネット）」「工事請負契約について（千葉市蘇我スポーツ公園多目的広場人工芝改修工事）」等について上程され可決しております。

また、前定例会や臨時会に引き続き、今定例会でも補正予算において新型コロナウイルス感染症に関する予算が計上されておりますので、主なものを表記させていただきます。

■冬場の感染拡大に備えた対応
・インフルエンザ・高齢者肺炎球菌の予防接種助成
・新型コロナウイルス感染症患者用の病床確保・拡充

■家計・事業継続への支援
・離職等により住居を失うおそれのある方等に対する住居確保給付金の増額
・バス・タクシー運転席仕切り補助等、地域公共交通における感染防止対策

■新しい生活様式の定着に向けた取組み
・オンラインによるリカレント教育講座配信及び学校・家庭間連絡システム整備

■イベントの中止・延期等への対応
・イベントの中止・延期による事業費の減額及び千の葉の芸術祭開催

この他にも、昨年の台風により被災した集会所・倉庫の建替・修繕を行う自治会に経費を助成する「地域コミュニティ施設等再建支援」、東京方面への新たなインターチェンジの事業着手に向けて予備設計等を実施する「スマートインターチェンジ整備」などが補正予算として計上され可決いたしました。

決算審査特別委員会について

9月18日㈮本会議散会後、「決算審査特別委員会」が開催され、令和元年度の決算審査を行うこととなりました。

提出された議案は、決算関連議案1件、決算議案18件で、正副委員長の互選、分科会の設置及び分科会委員の選任、正副主査の互選、理事会を設置し決算審査特別委員会理事会が開催され、理事会終了後は休憩を挟んで総括説明が行われました。

23日㈬からは、5つの分科会による決算審査が行われ、総務分科会では、令和元年の台風・大雨等自然災害の多発を踏まえた防災・減災対策、国際交流・多文化共生推進の取り組み等、保健消防分科会では、新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者への支援体制の強化、救急搬送体制のさらなる充実等、環境経済分科会では、監視カメラの設置や啓発看板等による不法投棄対策への取り組み、昨年の自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている中小企業支援及び労働者支援体制の確保等、教育未来分科会では、公民館の利便性向上及び避難所としての機能強化、様々な関係機関との連携による子どもの貧困に対する支援体制強化等、都市建設分科会では、住宅団地の活性化及び交通不便地域への支援による持続可能な都市の実現、災害時の被害軽減に向けた無電柱化の推進等、多岐にわたる質疑応答、意見・要望が述べられました。

9月30日㈬には5分科会での指摘要望事項の検討、10月5日㈪の決算審査特別委員会理事会、6日㈫本会議散会後の決算審査特別委員会における分科会報告・意見表明・採決を経て、最終日の7日㈬本会議において決算審査特別委員長報告・討論・採決が行われ、すべての令和元年度決算議案及び関連議案は可決・認定されることとなりました。

定例会最終日・議場にて

花見川区の諸問題について

千葉市花見川区と習志野市の市境となる道路

①交通政策について

花見川区北部地域において、交通の不便な地区が多数あることについては以前も取り上げたことがありますが、先日、習志野市との市境である作新台地区の住民の方より、公共交通についてのお問い合わせがありました。

お話によると、バスの運行時間やルートの変更により使い勝手が悪くなったとのことでした。この地区では自家用車での移動をする方も多く、利用頻度の低下等による変更が考えられますが、免許を返納された高齢者の方々も多数いらっしゃると伺っており、早急な対策が必要であると考えます。

令和3年秋頃策定予定の（仮称）千葉市地域公共交通計画でも交通不便地域の公共交通について取り上げられると思いますが、交通政策課との協議をする中で、有償の福祉タクシーや地域の方の自家用車を利用した有償ボランティアによる移動、バスの中小型化やワゴンタクシーなどを利用したデマンド交通などがあがりました。また、次世代モビリティの自動運転による移送についても提案がありましたが、こちらにつきましては今後も実証実験や検証等、ある程度の時間が必要とのことでした。

いずれも道路運送法との整合が必要となって参りますが、前述いたしましたように早急な対応が求められますので、交通事業者さんとの意見交換及び交渉、法整備の働きかけ等、交通政策課及び関係部局と連携し、進めて参る所存です。

②通学路について

花見川小学校及び花島小学校の通学路について、保護者や青少年育成委員会からご相談いただき、地域安全課・花見川稲毛土木事務所・教育委員会の関係課との協議を行い、対応・対策を進めております。

三角町方面から柏井橋を渡り大和田方面に少し進み左折すると、花見川小学校の通用門付近に突き当たる道路は、柏井町方面から花見川小学校に通う子どもたちの通学路になっております。また、突き当たった道路はスクールゾーンとなっており、7：00から8：30は自動車の通行はできないこととなっておりますが、実際は車の通行量が多くなっている状況です。

また、花見川団地方面から花見川大橋に向かう交差点には信号があり、手前のコンビニ横道路を左折して花島公園方面にぬける自動車が、花島町から花島小学校に通う子どもたちの横をぬけていく状況と伺いました。

これに対し子どもたちの通学路の安全確保のため、「この道は通学路です。減速してください。」や「7：00～8：30この先スクールゾーンにつき通り抜け不可。」の看板を設置して、自動車を運転する皆様への周知・お願いを実施いたします。また、花見川小学校の通学路では、地域安全課を通して警察によるスクールゾーンでの監視を依頼、花島小学校の通学路には道路標示による注意喚起等も検討しているところです。

◇　◇　◇

だんぎ和彦は地域の諸問題に取り組んでおります。地域の多くの方々が抱えている問題・課題を「花見川区の諸問題」として、市議会やレポート等を通じて提案・検討させていただきます。

ぜひ、ご一緒に考えましょう！

皆様からのご意見・ご相談・お問い合わせをお待ちしております。

花島公園入口信号と花島小学校花島公園門へ続く道路

BAY SIDE JAZZ 2020 CHIBA

9月25日㈮・26日㈯の2日間にわたり、千葉市文化センター 3階アートホールにおいて、「BAY SIDE JAZZ 2020 CHIBA・SPECIAL 2DAYS CONCERT」が開催されました。

本来であれば、飲食店やホール、広場や公園などでジャズが演奏され、千葉の街がジャズ一色に染まる、私も心待ちにしているイベントですが、皆様もご承知の通り新型コロナウイルス感染病拡大の影響により、感染予防の観点から今年は2DAYS CONCERTのみ開催される運びとなりました。

25日㈮は18：00開演で、大原保人スーパージャズトリオ＆つづらのあつしさんに、スペシャルゲストとしてジャズヴォーカリストのマリーンさんが登場し、迫力のある素晴らしいステージを感じさせていただきました。26日㈯は予定があり会場には行けませんでしたが、13：30開演で、真梨邑ケイグループ、平松加奈ジプシージャズクァルテット、大原保人クインテットにゲストのジャズヴォーカリスト平賀マリカさんが加わり、熱いステージを展開されたと伺っております。

ジャズヴォーカリスト・マリーンさんと

現在、ウィズコロナ・アフターコロナと言われる中ですが、今後も千葉市の文化芸術として根付いた「BAY SIDE JAZZ」がさらに発展し、全国に向けて発信されることを心から願っております。

ご意見、お問い合わせは、こちらまでお寄せください。
TEL：043-258-0958　FAX：043-286-9312　E-mail：dangi.s@coda.ocn.ne.jp